

よろこび

日蓮宗 顕聖会

本山 妙顯寺

長音山 本要寺

『日蓮聖人との対話』九（感応対談）

貫首 齊藤 日軌

（問者）日蓮大聖人様私たちは今疫病コロナの流により自粛生活をしておりますが、しかしこの苦難のなかで、私たちは、人間の歴史を振り返り、新しい時代の生き方を思索追求しています。

人間はその歴史において戦争のような闘争戦いのを繰り返してきました。そしてまた歴史から戦争はなくなりなれと言われていきます。多くの尊い人命が戦争により失われ、中立国の軍人・民間人の被害者数の総計は五〇〇〇万八〇〇〇万人とされています。当時の世界の人口の二パーセント以上が被害者となりました。人間の不幸の最たるものはコロナや地震より、自らが引き起こしそれにより多くの人命を失い苦しんでき戦争によるんじゃないでしょうか。なぜ戦争はなくならないんでしょう？

（日蓮聖人）私は、日蓮である。戦争は、人間の身体だけではなく多くの人の心を傷つけ個人個人の心のみではなく、人類の集合意識に傷を残しカルマを形成します。その集合意識に蓄積されたカルマ、怨み、憎しみは、また新たな戦争を引き起こす。また人間が戦争を繰り返すのは何故かと考えるには、人間だけではなく自然界の動物一般を観察するとよい。



昆虫の蟻などにしても軍隊蟻というのがあるし、多くの動物は生存のために戦っている。これらを見ると、生物のDNAの中に戦うと言う本能を惹起せしめる因子があるのではないかと考えられる。それ故戦いがなくならないのであろう。

このDNAは生存本能、種族保存本能発揮させ戦をするようである。じつは、この戦争を起こすこの生存本能、種族保存本能、肉体保存の本能こそが人間を苦悩の輪廻に輪廻縛り付けている原因でもある。だから戦争の克服は人類を苦しみから救うのみならず、輪廻からの解放につながるということが言えるだろう。人間はこの肉体のDNAの指令から解放されなければいけない。

（問者）実に興味深い話です。たしかに肉体的な本能それ自体は、DNAの指令から来るんですよ。それは肉体を保存し種を存続繁栄させると言う目的によるからでしたよね。戦争をなくすためこの本能を克服するということはその反面、肉体的な生存を無くす否定するということなことでないませんか？

（日蓮聖人）この地上に於ける人類の繁栄と靈性の向上の二つを達成するためには、肉体を持ちつつ靈的な意識を持ち続けるための意識操作技術が必要となる。

日蓮聖人のお言葉

南無妙法蓮華経と唱え

この地上に於ける繁栄と靈性の向上の二つを達成しよう

